

令和3年度 4歳児 「運動会リズム表現」 単元計画

(令和3年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 単元設定の理由

3歳の時に、運動会リズム表現を経験し、なりたい登場人物になりきって、登場人物の気持ちを感じながら遊ぶことを楽しんだ。その中で、いろいろに身体を動かしたり遊具を使って身体を動かしたり、曲のリズムによって身体を動かしたりする楽しさを味わった。また、友達と一緒に遊び、一緒にいる心地よさや遊ぶ楽しさを感じてきた。

4歳の1学期、*今年度から4歳進級時にもクラス替えを行ったことで、3歳の時に関わりの少なかった友達と関わる機会に恵まれた。初めは緊張しながらもクラスという集団で共に過ごす中で、いろいろな友達の個性を感じながら、1年間共に過ごしてきた友達のいろいろな個性を少しずつ感じながら、*気の合う友達を見付けて誘ったり誘われたりして一緒に遊ぶ姿が見られた。また、今日はこんな風にしたい、昨日の続きがしたいと思い、やりたいことを意識して継続して遊ぶ姿が見られるようになってきている。また、いろいろなごっこ遊びをする中で、なりたい登場人物の気持ちや場面に応じた動きや話し方を考えてなりきることや、したいごっこ遊びが同じ友達と一緒に、なりきって遊ぶことを楽しんできた。

4歳の2学期になると、できるようになりたい、上手になりたいなどの具体的な目的をもって、少し難しいことに挑戦する姿が増えてくる。そして、できるようになったことや、前よりも上手になってきていることを嬉しいと思ったり自信をもったりする。友達の存在をはっきりと意識し、積極的に友達を誘ったり、友達とのやりとりを楽しんでいると感じたり、友達のしていることを面白いと思ったりするようになっていく。

運動会のリズム表現は、なりたい登場人物になりきって、お話の場面を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりしながら表現することを楽しむ機会となる。さらに、学年全体で取り組むことで、クラスを越えたいろいろな友達の個性を感じながら遊ぶことができる。さらに、みんなで一緒に一つのお話を作り上げていく中で、みんなが楽しくなるように、思いついたことを考えてしたり、友達の考えを聞いて自分のできることを考えてしようとする機会をもてると考える。また、少し難しいことに1か月という期間で継続して取り組むことで、前よりもできるようになったことや自分の頑張りを感じ、自信につながると考える。

そこで、子ども達に身近で姿や動きが分かりやすい登場人物を取り上げたり、登場人物について見たり聞いたりする機会を作ったりして、登場人物の気持ちや具体的な場面を思い浮かべながら表現することを楽しめるようにしたいと考える。また、クラスの友達やクラスを越えたいろいろな友達とかかわりながら進めていく中で、友達が考えた動きや表情を見て、素敵などころや面白いところ、考えに気付いたり頑張っているところを見たり、困っていることを教えてもらったり応援してもらったりして、友達の頑張りを、優しさなどの色々な個性に気付いたりしてほしい。また、みんなで一つのお話に取り組む中で、みんなが楽しくなるように、どうしたらよいか考えたことを話したり、友達に声をかけたり、周りを見てできることをしようとしたりするよう、考えを出し合う機会を作ったり、考えて動いている子どもを知らせたりしていきたい。さらに、短縄やボールなどの運動用具を使ったり、前転、ギャロップ、スキップ、*片足飛び、クマ歩き、カエルの足打ち*などの動きを取り入れたりして、少し難しいことに長期間継続して取り組み、できるようになってきたことや自分の頑張りを感じて、自信をもってほしいと考える。

3. ねらい

- ① ~~短縄を回したり跳び越えたりする~~、前転をする、スキップをする、~~本登りをする~~など少し難しいことを、できるようになりたい、上手になりたいと思い、何度も取り組もうとする。
自分たちでつくったお話の中で、この場面をやりたい、この動きを頑張りたいと思って何度もやってみようとする。
- ② できるようになりたいこと、やってみようと思っている上手になりたいことに何度も取り組んだことでから、前よりも上手になったことや自分の頑張りを感じたり、自分の考えたことや頑張ったことを見てもらったり褒めてもらったりして、自分に自信をもつ。
- ③ いろいろな友達と、一緒に動いたり同じ動きをしたり、友達の動きのよさを感じて動いてみたり、誘ったり誘われたり、~~相手の動きを見てそれに合わせて動いたり~~、考えたことを一緒にしたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ④ 友達が考えた動きや表情を見て、素敵なおとこや面白いところ、考えに気付いたり、友達が頑張っているところを見たり、困っていることを教えてもらったりして、友達の頑張りがやさしさに気付いたりする。
- ⑤ 友達が困っていることを聞いててあげたり助け~~てあげようとし~~たりしようとする。
- ⑥ みんなで一緒にするごっこ遊びが楽しくなるために、どうしたらよいか考えたことを話したり、友達に声をかけたり、周りを見てできることをしたり、しようとしたりする。
- ⑦ 友達とぶつからないように周りを見たり、間隔を空けたり、どうすると危ないかを聞いたり考えたり教えてもらったりして動こうとする。
- ⑧ 思い切り走ったり、ゆっくり静かに動いたり、止まって小さくなったり、~~ポーズをとったりして~~するなど、動と静の様々な身体の動きを楽しむ。
- ⑨ スキップしたり、やギャロップ、片足跳びなどをしたりして、~~身体が弾む感覚を感じたり~~、地面を強く蹴って~~跳ぶ~~全身を使って跳ねる感覚を感じたりする。
- ⑩ 手を広げたり足で踏ん張ったりして、片足でバランスをとろうとする。
- ⑪ クマ歩きやカエルの足打ち、前転がりをして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、手のつき方や身体の丸め方、足の伸ばし方などを繰り返す中で、身体で感じたり考えたり試したりする。
- ⑫ ~~回したり、転がしたり、くぐったり、フープの動きを予想したりして、運動用具を回す、投げる、跳び越えるなど、短縄の特性に応じた身体の使い方や、指や足のかけ方や登る時の力の入れ方を繰り返す中で体で感じたり考えたり試したりして動く楽しさを感じる。~~
- ⑬ リズムを感じながら、身体を動かす楽しさを感じる。
- ⑭ 絵本を読んでももらったり、お話を聞いたりして、船で冒険する登場人物のことを思い浮かべたり、嵐の時の厳しい雨風に耐えたり、ジャングルを慎重に進んだり動物になりきったり、宝を手に入れた時の喜びや達成感を感じたりお話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり、いろいろなお話の展開を感じ、自分たちのお話を考える楽しさを感じたりする。
- ⑮ 登場人物になりきってり、その姿や動きの特徴、気持ちや具体的な情景場面を思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、動き方や表情、話し方を考えたりして、身体で表現する楽しさを感じる。
- ⑯ 周りを見て広い場所を見つけて動いたり、友達との距離をとったりしようとする。

自ら決める・選ぶ

自分に満足する
自分を客観的に把握する

他者という喜びを感じる

他者のことを知る

他者のことを考えて行動する

人とものごとをすすする

身を守る

身体を操作する

音楽に表す

文芸に表す

身体の動きに表す
関連付ける

空間を数理的にとらえる

4. 単元構造

なりきって遊ぶことを楽しむ 気持ちや場面を思い浮かべて表現することを楽しむ 好きな場面を見付けたり、お話の流れが分かったりして表現することを楽しむ	友達と一緒にいろいろな身体を動かすことを楽しんだり、少し難しい動きに挑戦したりする A【登場人物になりきる】 ・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・お話の登場人物になって遊ぶ ・自分の表現を友達や教師に見てもらう ・なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動く ・友達が考えた登場人物の動きや表情を見る ・お話の具体的な場面を思い浮かべながら表現する ・喜びのダンスをする B【身近な運動用具で遊ぶ】 ・教師や友達がしているのを見る ・腰で回す縄を回したり跳び越えたりする練習を何度もする ・教師や友達に見てもらう ・友達と一緒にできる遊び方を考えたりしたりする ・友達が練習しているのを見る ・友達に教えてもらう ・友達が困っていることを聞く ・フープを回す前に、周りを見る ・腰回しをする ・手でひねって回す ・転がす ・くぐる ・追いかけてつかむ ・両足跳びで入ったり出たりする ・木登りをする C【身体を動かして遊ぶ】 ・教師や友達がしているのを見る ・できるようになりたいことに向けて何度も取り組む ・できるようになったことや頑張ったことを教師や友達に見てもらう ・友達が難しいことを頑張っているところを見る ・動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりする ・走る ・止まる ・小さくなる ・ポーズをとる ・ギャロップをする ・スキップをする ・片足跳びをする ・両足跳びをする ・片足バランスをする ・前転をする ・クマ歩きをする ・カエルの足打ちをする ・広い場所を見付ける
--	--

楽しんでいることや頑張っていることを見てもらうことを喜ぶ D【運動会で見てもらう】 ・運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを聞く ・みんなでどんなお話を表現するのか考える ・リズム表現を見てもらう
--

A【登場人物になりきる】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
- 絵本を見たり、お話を聞いたりする - お話の登場人物になって遊ぶ - 自分の表現を友達や教師に見てもらう - なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動く - 友達が考えた登場人物の動きや表情を見る - お話の具体的な場面を思い浮かべながら表現する - 喜びのダンスをする	○自分の考えたことや表現を見てもらったり褒めてもらったりして、嬉しいと思う② ○なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動いて一緒に遊ぶ楽しさを感じる③ ○友達が考えた登場人物の動きや表情を見て、素敵などころや面白いところ、考えに気付く④ ○友達と一緒にするお話が楽しくなるように、思いついたことを言ったり考えてしたり、友達の考えを聞いて自分のできることを考えてしたりしようとする⑥ ○船で冒険する登場人物のことを思い浮かべたり、嵐の時の厳しい雨風に耐えたり、ジャングルを慎重に進んだり動物になりきったり、宝を手に入れた時の喜びや達成感をを感じたりなど、登場人物の気持ちを感じる⑭ ○いろいろな登場人物になって遊ぶことを楽しむ⑮ ○登場人物になりきり、その姿や動きの特徴、気持ちや具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、動き方や表情、話し方を考えた	◎自分の考えたことや表現を見てもらったり褒めてもらったりする楽しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらおう機会を作って友達を感じたことを聞かせたりする。 ◎なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動いて一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、一緒に登場したり、走ったり転がったり、誘ったり誘われたりして一緒にしている子どもの名前をあげて感じている嬉しい気持ちや楽しそうにしている様子を言葉にして伝えたりする。 ◎友達が考えた登場人物の動きや表情を見て、素敵だな、面白いなど思えるように、工夫している表現に注目させたり、友達の考えを聞かせたり、見て感じていることに共感したりする。 ◎みんなでするお話が楽しくなるための動きや話し方、場の取り方などを言ったり、考えて動いたりするように、思いついた子どもの言葉を取り上げて、みんなが楽しくなることを考えているよさを伝えたり、友達の考えを聞く場をもち、どう思うか尋ねたりする。 ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めたり、強調したりして読んだり、それぞれの場面での気持ちを尋ねたり、一緒に考えたりする。 *海賊の暮らしや船や武器について、興味をもったり、知ることができたりするように、いろいろな海賊の絵本や図鑑を集めて置いておいたり、写真や掲示を表示しておいたりする。 ◎登場人物になって遊ぶことを楽しめるように、子どもがなりたい登場人物の得意なことや好きな物や性格などに合わせて、動いたり、具体的な場面を設定したり、教師も一緒になって遊んだり、なっていたいことを尋ねたり一緒に考えたりする。 ◎なりたい登場人物の姿や動きや性格などから、動き方を考えられるように、身近で姿や動きが分かりやすい登場人物を取り上げたり、登場人物について見たり聞いたりする機会を作ったりする。 ◎気持ちや具体的な場面を思い浮かべられるように、情景を具体的に伝えたり、登場人物の気持ちを尋ねたり、一緒に考えたり、友達の思いを聞か

	りして、身体で表現する楽しさを感じる。⑮ ○リズムを感じながら、身体を動かすことを楽しむ⑬	せたり、考えた動きを見せ合ったりする。 ◎場面を思い浮かべながら身体で表現することを楽しめるように、場面の雰囲気に合わせてリズムや高さ、強弱をつけてピアノを弾く。 ◎リズムを感じながら身体を動かすことを楽しめるように、軽快で分かりやすいリズムの曲を選び、リズムよくピアノを弾いたり、リズムに合わせて楽しそうに動いている子どもの動きを紹介したりする。 ◎お話に出てきた動きや歌詞に合った動きを考えたり、表現したりすることを楽しめるように、
--	---	--

B【身近な運動用具（フープ短縄・木登り）で遊ぶ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・教師や友達が見ているのを見る ・腰で回す練習を何度もする ・教師や友達に見てもらう ・友達と一緒にできる遊び方を考えたりしたりする ・友達が練習しているのを見る ・友達に教えてもらう ・友達が困っていることを聞く ・フープ短縄を回す前に、周りを見る ・腰回しをする ・手でひねって回す ・転がす ・くぐる ・追いかけっこ ・かま ・両足跳びで入ったり出たり	○短縄を回したり跳び越えたりするなどできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって、何度も取り組もうとする① ○前よりも長く回せた、速く回せたなど、できたり上手になってきたりしたことや自分の頑張りを感じて、自信をもつ② ○一緒に回したり、跳んだりするなど、互いに考えた遊び方を一緒にして運動用具を使って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる③ ○友達が頑張っているところを見たり、困っていることを教えてもらったりして、友達の考えや頑張りを、優しさに気付く④ ○友達が困っていることを聞いてあげたり助けてあげようとしたりする⑤	*何度も取り組みやすいように、取りやすい場所に運動用具を用意しておく。 ◎してみよう、できるようになりたいと思えるように、教師がして見せたり、友達が見ている姿を見せたりする。 ◎もっと長く回したい、速く回したいなど、自分で決めて続けて取り組めるように、前よりも長く回していることなど練習することで上手になっていることを具体的に伝えて感じさせたり、もっと回せそうだと励ましたりする。 ◎できるようになりたいと思っていることに近付いたり、頑張った自分を感じて自信をもてるように、一緒に喜んだり、前と比べて上手になってきていることを具体的に伝えたり、これまでの頑張りを認めたりする。 ◎運動用具を使って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、一緒にどんな遊び方ができるかを考えてする機会を作ったり、考えた遊び方を見せ合ったりやってみたり、遊び方を提案したりする。 ◎友達の頑張りを感ぜられるように、互いに見合う場をもち、頑張っている友達の様子を知らせたり、前の姿からの変容を伝えたりする。 ◎友達の優しさを感じられるように、難しく感じているところを出し合う場をもったり、困っている子どもの様子を知らせたりして、どうすればよいか友達に聞けるようにする。 ◎困っていることを聞いてあげたい、助けてあげたいと思えるように、難しく感じているところを出し合う場をもったり、困っている子どもの様子を知らせたりして、どうしたらいいか一緒に考え

りする ・回したり、跳び越えたりする	○友達に運動用具が当たらないように周りを見たり、どうすると危ないかを考えたり教えてもらったりして動こうとする⑦ ○運動用具の特性に応じた身体の動かし方を考えたり試したりする⑫	る。 ◎友達に運動用具が当たらないように周りを見ようとするように、友達が近くにいないかどうか周りを見て確かめることを促したり、近くに友達がいることを知らせたり、当たってしまうとどうなるか一緒に考えたり、痛い思いをすることを話したりする。 ◎木に登る際の身体の動かし方を身体で感じたり試したりできるように、登って見せたり、友達が登る姿を知らせて動きのポイントを具体的に言葉にして添えたり、具体的な足や手をかける位置などのコツを知らせたり、上手くいつている時の動きを知らせて意識させたりする。 ◎運動用具の特性に応じた身体の動かし方を考えたり試したりできるように、自由に使って遊び、子どもの気付きに驚いたり一緒に楽しんだり、教師もいろいろな遊び方を見せたりする。
---	---	--

C【身体を動かして遊ぶ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・教師や友達が見ているのを見る ・できるようにしたいことに向けて何度も取り組む ・できるようになったことや頑張ったことを教師や友達に見てもらう ・友達が難しいことを頑張っているところを見る ・動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりする ・走る ・止まる ・小さくなる ・ポーズをとる ・ギャロップをする ・スキップをする	○前転をする、ギャロップをするなど少し難しいことを、できるようになりたい、上手になりたいと思い、何度も取り組もうとする① ○前転ができた、ギャロップができるようになってきたなどと思ったり、自分の頑張りを感じたりして、嬉しいと思う② ○友達が前転やギャロップや片足で踏ん張って立つなど頑張っているところを見て、友達の頑張りに気付く④ ○友達とぶつからないように動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりしようとする⑦ ○思い切り走ったり、止まって小さくなったり、ポーズをとったりして、動と静の様々な身体の動きを楽しむ⑧	◎してみよう、できるようになりたいと思えるように、教師がして見せたり、友達がしている姿を見せたりする。 ◎できるようにしたいことに何度も取り組めるように、繰り返し取り組むことで上手になってきていることを伝えたり、頑張りを認めたり、励ましたりする。 ◎前転やギャロップなど、できるようになりたいと思っていることに近付いていることや自分の頑張りを感じて嬉しいと思えるように、一緒に喜んだり、以前と比べて上手になってきていることを具体的に伝えたり、これまでの頑張りを認めたりする。 ◎友達が頑張っているところを見て、素敵だな、面白いなと思えるように、工夫している表現に注目させたり、見て感じていることに共感したりする。 ◎友達とぶつからないように動く前に周りを見たり、周りを見ながら動こうとするように、近くに友達がいることを知らせたり、どうすると危ないかを一緒に考えたり、考えて動こうとしているところを褒めたりする。 ◎動と静の様々な動きを楽しめるように、思い切り走ったり、止まったり小さくなったり、ポーズを決めたりする動きを取り入れ、教師も一緒に動いたり、子どもの動きに合わせてピアノの速度を変えて弾いたりする。

- る ・片足跳びをする ・両足飛びをする ・片足バランスをする ・前転をする ・クマ歩きをする ・カエルの足打ちをする ・広い場所を見付ける	○ギャロップしたり、片足跳びをしたりして、身体が弾む感覚を感じたり、地面を強く蹴って跳ぶ感覚を感じたりする⑨ ○手を広げたり足で踏ん張ったりして、片足でバランスをとろうとする⑩ ○クマ歩きやカエルの足打ち、前転がりをして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、手のつき方や身体の丸め方、足の伸ばし方などを繰り返す中で、身体で感じたり考えたり試したりする。⑪ ○周りを見て広い場所を見付けて動いたり、友達との距離をとったりしようとする⑫	◎身体が弾む感覚や地面を強く蹴って跳ぶ感覚を感じられるように、ピアノをリズムや強弱をつけて動きに合わせて弾いたり、動きに合わせて蹴ることを伝え、強く蹴ることを意識させたりする。 ◎バランスをとる感覚を味わえるように、手の広げ方や足の上げ方などを教師がして見せたり、友達の身体の使い方を見せたりする。 ◎前転の身体の動かし方を考えたり試したりできるように、教師も一緒にしたり、友達がしているのを見せて、手のつき方や頭の入れ方、背中の丸め方に着目させたり、うまくいっている時の動きを言葉にして意識させたりする。 ◎クマ歩きやカエルの足打ちをして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、手のつき方や足の伸ばし方を身体で感じたり考えたり試したりできるように、腕をついて足を上げる姿を見せたり、肘を伸ばすことや地面を見ること、手と手の間を空けることなど具体的なコツを知らせたり、足を持ち上げて逆さにして身体のイメージをもたせたりする。 ◎広い場所を探せるように、狭くなっているところを知らせたり、周りを見せて確かめさせたり、広い場所を見付けていることを褒めたりする。
--	--	--

D【運動会で見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを聞く ・みんなでどんなお話を表現するのか考える ・リズム表現を見てもらう	○運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことに期待をもつ① ○運動会で見てもらうお話を自分たちで考える⑭ ○楽しんでいることや頑張ってきたことをおうちの人やお客さんに見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして、喜んだり自分に自信をもったりする②	◎運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを楽しみにできるように、運動会の日のことを話題にして話しながら、子どもの期待する言葉を聞き、教師も一緒に楽しみな気持ちを話す。 ◎これまで楽しんできたことを思い出し、みんなで考えを出し合ってはお話を作り上げる面白さを感じられるように、今まで表現遊びをしてきた中で、楽しかった部分を尋ねたり、どんなお話にしたら面白くなるか一緒に考えたりして、お話を作る。 ◎楽しんだことや頑張ってきた自分に満足し、自信をもてるように、これまでの頑張りや今日の頑張り結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことなどを具体的に認めたり、お家の人やお客さんに見てもらったり拍手をもらったりしたことを一緒に思い出して喜んだりする。